

SCSK グループ 2021 年度 現代奴隷法に係る声明

SCSK グループは、パートナー企業をはじめとする取引先の皆さまとともに、世界における奴隷労働や人身売買等の撲滅に努めていきます。

本声明は、英国現代奴隷法に従い、SCSK グループの 2021 年度の取り組みを公表するもので、2023 年1月31日開催の取締役会にて承認しております。

組織について

SCSK グループは、国内 17 社および海外 6 社のグループ会社からなり、国内外に約 50 の拠点をもち、約 15,000 人の役職員と共に、IT コンサルティング、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO 等のサービス提供を行っています。

SCSK の事業詳細につきましては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.scsk.jp/corp/outline.html>

SCSK グループ事業およびサプライチェーンにおける現代奴隷防止に関する取り組み

SCSK グループは、[経営理念](#)「夢ある未来を、共に創る」のもと、事業活動を通じて社会に貢献する企業を目指して、さまざまなステークホルダーの皆様と共に豊かな社会づくりに取り組んでいます。その実現のため、SCSK グループでは、事業活動に関わる一人ひとりの個性や価値観を尊重し、互いの力を最大限に活かせるよう、経営理念の中の約束の一つとして「人を大切にします。」を掲げています。

また、2020 年度に策定したサステナビリティ経営の羅針盤となる 7 つの[マテリアリティ](#)の中で「多様なプロフェッショナルの活躍」と「健全なバリューチェーンの確立」を定めています。「多様なプロフェッショナルの活躍」では、多様なスキル・経験を持つプロフェッショナルが、価値観を共有し、多様性と専門性を活かしながら、活躍・成長し続けられる機会・職場を実現するため、ダイバーシティ&インクルージョン、健康経営、働きがいの向上などの取り組みを推進しています。「健全なバリューチェーンの確立」では、パートナー企業と共に働き方改革や健康経営施策、サステナビリティ経営などを推進し、IT 業界の発展に取り組んでいます。マテリアリティへの取り組みを通じて、事業に関わる一人ひとりの人権を尊重することで、自社・業界の品質を高め、お客様に提供するサービスも向上させ、よりよい社会の実現に貢献していきます。

SCSK グループは、現代奴隷に関する問題を真摯にとらえ、その事業およびサプライチェーンにおける現代奴隷の防止に向けて、以下のような取り組みを行っています。

[SCSK グループ人権方針](#)

SCSK グループでは、経営理念および行動指針に基づき、SCSK グループの事業活動の影響を

受けるすべての人々の人権を尊重する企業グループとして、その考え方や責任について示す「SCSK グループ人権方針」を策定しております。

本方針は、「国際人権章典」および国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」が定める人権を尊重し、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいて人権を尊重した事業活動を推進することを目的としており、i)人権デュー・ディリジェンスの取り組みを通じ、人権への負の影響の特定・防止・軽減に努めること、ii)SCSK グループの事業活動が人権に負の影響を引き起こしたこと、または助長したことが明らかとなった場合、適切な手段を通じて、その是正や救済に取り組むこと、iii)中立で公正な外部から得られる人権に関する専門知識を活用するとともに、関連するステークホルダーとの対話と協議を行うことにより、人権尊重の取り組みの向上と改善に努めること等を定めています。

また、SCSK は、2007 年から国連グローバル・コンパクトに参加しています。国連グローバル・コンパクトの「人権・労働基準・環境・腐敗防止」に関する 10 原則を支持し、人権の尊重に加え、労働基本権も保障した企業活動を行うことを宣言しています。

人権デュー・ディリジェンス

SCSK グループでは、2022 年度より「SCSK グループ人権方針」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを進めています。SCSK グループの人権デュー・ディリジェンスは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」、「国連指導原則報告フレームワーク」、「責任ある企業行動のための OECD デュー・ディリジェンス・ガイダンス」など、国際的なガイドラインに沿ったプロセスで実施しています。

最初のステップとして、グループ全体の人権への影響・リスクを評価すべく、デスクトップ調査・専門家へのヒアリング・社内インタビューを行い、優先的に対応すべき、人権課題の特定に取り組んでいます。

今後、リスク評価の強化、リスク防止・低減に向けたアクションプランの策定、モニタリング実施に向けた準備を進めていきます。

サプライチェーンにおけるサステナビリティ推進方針

パートナー企業をはじめとする取引先の皆様と共に社会的責任を果たしていくために、「サプライチェーンにおけるサステナビリティ推進方針」を制定しています。その中で「人権を尊重し、人権侵害に加担しない」、「強制労働・過重労働・児童労働・不当な低賃金労働を防止する」など人権に関する指針をうたっており、本方針へのご理解・ご賛同をお願いしています。

グループガバナンス

SCSK グループは、経営の透明性を確保し、適正なガバナンス体制と監視体制の強化、継続的なリスク管理で経営の健全性の維持・向上に努めています。

SCSK グループでは、グループの事業に重大な影響を及ぼす可能性のあるリスクを適切にマネジ

メントするため、リスクマネジメントに関する規程を定め、それに基づき、毎年定期的に国内外のグループ会社も含めリスクアセスメント(リスクの特定・分析・評価)を実施しています。評価の結果、より重点的な対策が必要と考えられるリスクについては「重点リスク管理項目」として全社的観点から対策を講じるよう取り組んでいます。

教育・啓発

SCSK グループでは、役職員の現代奴隷および人権尊重に関する理解を深め、意識を高めるようすべての役職員に対し、教育・研修やセミナーを実施しています。今後もより適切な教育・研修を行い、その受講を推進していきます。

SCSK グループは、現代奴隷の根絶は重要と考えており、引き続き、自らの事業およびサプライチェーンにおける現代奴隷の防止に関する取り組みを継続していきます。

2023 年 2 月 1 日

SCSK 株式会社

取締役 爲房 孝二